

## 第1節 調査の概要

本計画の策定にあたっては、本市がこれまでに取組んできた施策に対する満足度や、今後、より充実を図るべき取組み等について、市民の皆さんに幅広く御意見をうかがうためのアンケート調査を実施しました。主な設問の回答結果等は、以下のとおりです。

## (1) 調査の実施方法・期間

## ①調査の対象者

本市に住民登録している満18歳以上の市民の中から、無作為抽出した男女5,000人

## ②調査の実施方法

郵送による調査票の配布、郵送及びWEB（インターネット）による回収

## ③調査の実施期間

令和5（2023）年11月15日～12月10日まで

## ④回収状況

配布数5,000票、有効回収数1,814件（郵送分1,381件、WEB分433件）、回収率36.3%

## (2) 設問の構成

【問1～8】回答者の属性等

【問9】まちの印象・暮らしやすさ（住み続けたいか、住み続けたい・住み続けたくない理由）

【問10】日常生活における意識

【問11・12】まちの人口減少について（人口減少を知っていたか、人口減少を抑えるために行政が力を入れるべき取組み（優先順位の高い順に1位から3位まで））

【問13】現在の市民生活やまちづくりに対する評価と今後、行政が特に力を入れるべき取組み

【問14】市民参加のまちづくり（まちづくりの主体）

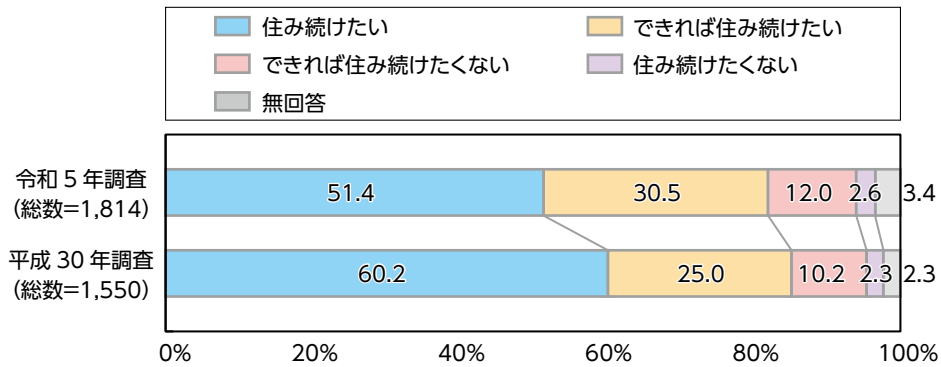
## 第2節 主な設問の回答結果

## 1 北茨城市への定住意識

「住み続けたい」が81.9%で、「住み続けたくない」の14.6%を大きく上回っています

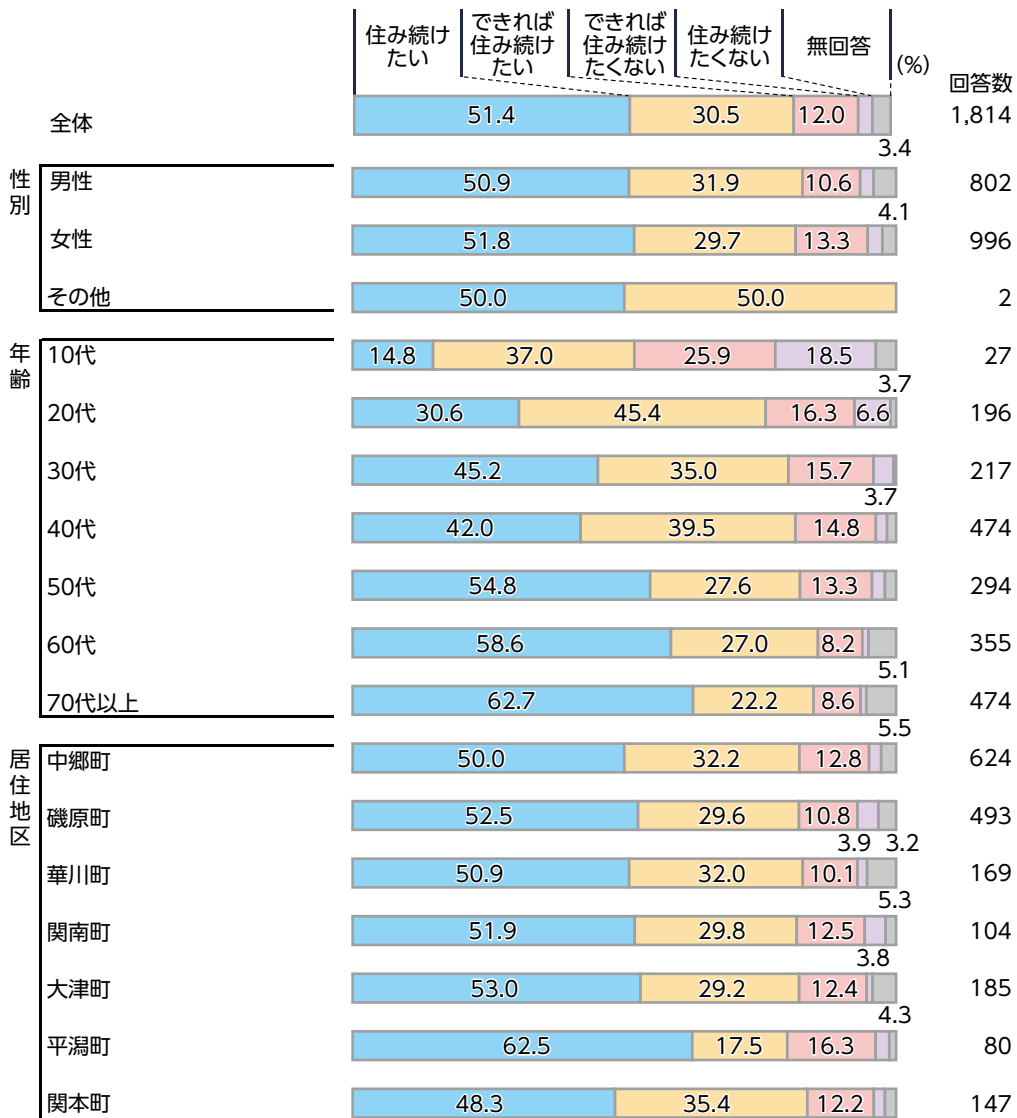
「住み続けたい（51.4%）」と「できれば住み続けたい（30.5%）」を合わせた「住み続けたい」が81.9%で、「できれば住み続けたくない（12.0%）」と「住み続けたくない（2.6%）」を合わせた「住み続けたくない」の14.6%を大きく上回っています。

図表 北茨城市への定住意識（前回調査結果との比較）



年齢別に見ると、20代では「できれば住みたくない（16.3%）」と「住みたくない（6.6%）」を合わせた「住みたくない」が22.9%に上っているなど、若い年代ほど「住みたくない」の回答率が高い傾向にあります。

図表 北茨城市への定住意識（令和5年調査結果）



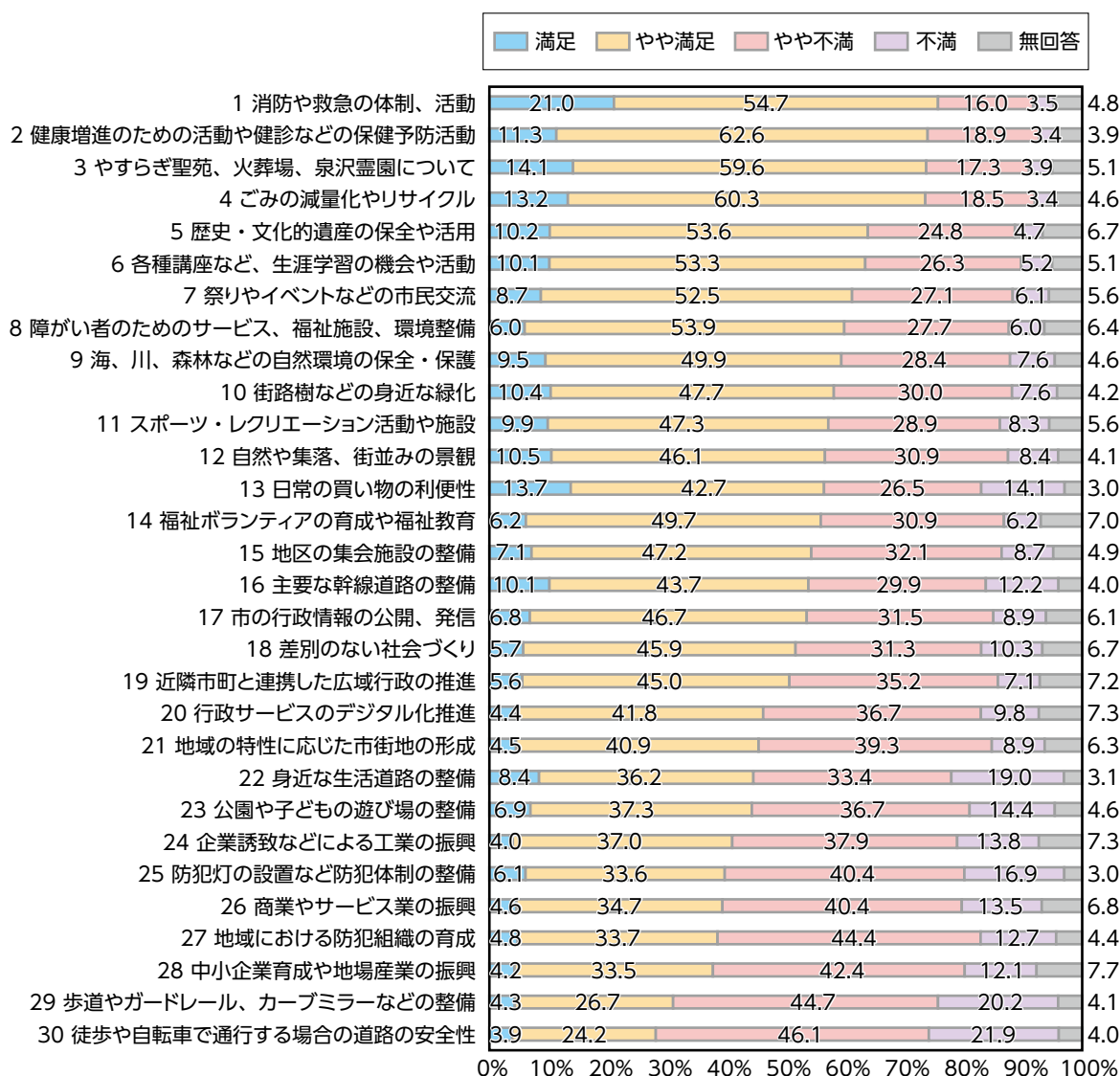
## 2 現在の市民生活やまちづくりに対する評価（満足度）

市民生活に身近な道路交通の安全性に対する不満度が高くなっています

「満足」と「やや満足」を合わせた「満足」の回答率が最も高かったのは、「1 消防や救急の体制、活動」の75.7%であり、以下、「2 健康増進のための活動や健診などの保健予防活動」の73.9%、「3 やすらぎ聖苑、火葬場、泉沢霊園について」の73.7%、「4 ごみの減量化やリサイクル」の73.5%、「5 歴史・文化的遺産の保全や活用」の63.8%の順となっています。

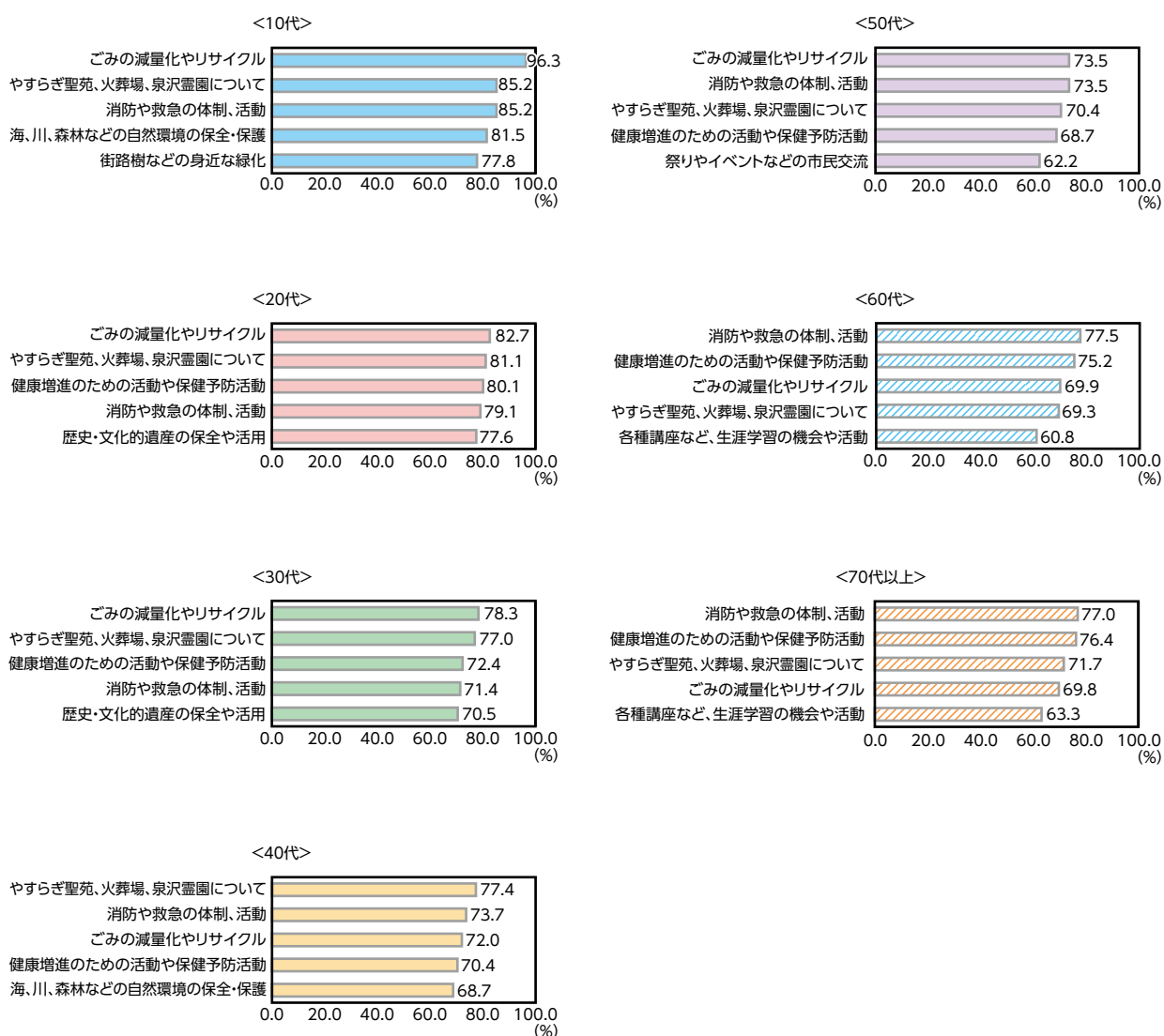
一方、「不満」と「やや不満」を合わせた「不満」の回答率が最も高かったのは、「30 徒歩や自転車で通行する場合の道路の安全性」の68.0%であり、「29 歩道やガードレール、カーブミラーなどの整備」が64.9%でこれに次いでおり、市民生活に身近な道路交通の安全性に対する不満度が高い結果となっています。

図表 現在の市民生活やまちづくりに対する評価（「満足」＋「やや満足」の合計の高位順）



年齢別に「満足」と「やや満足」を合わせた「満足」の回答率の上位1位から5位を見ると、いずれの年齢も「ごみの減量化やリサイクル」、「やすらぎ聖苑、火葬場、泉沢霊園について」、「消防や救急の体制、活動」が入っているほか、10代を除くすべての年齢で「健康増進のための活動や健診などの保健予防活動」が入っているのが特徴的といえます。

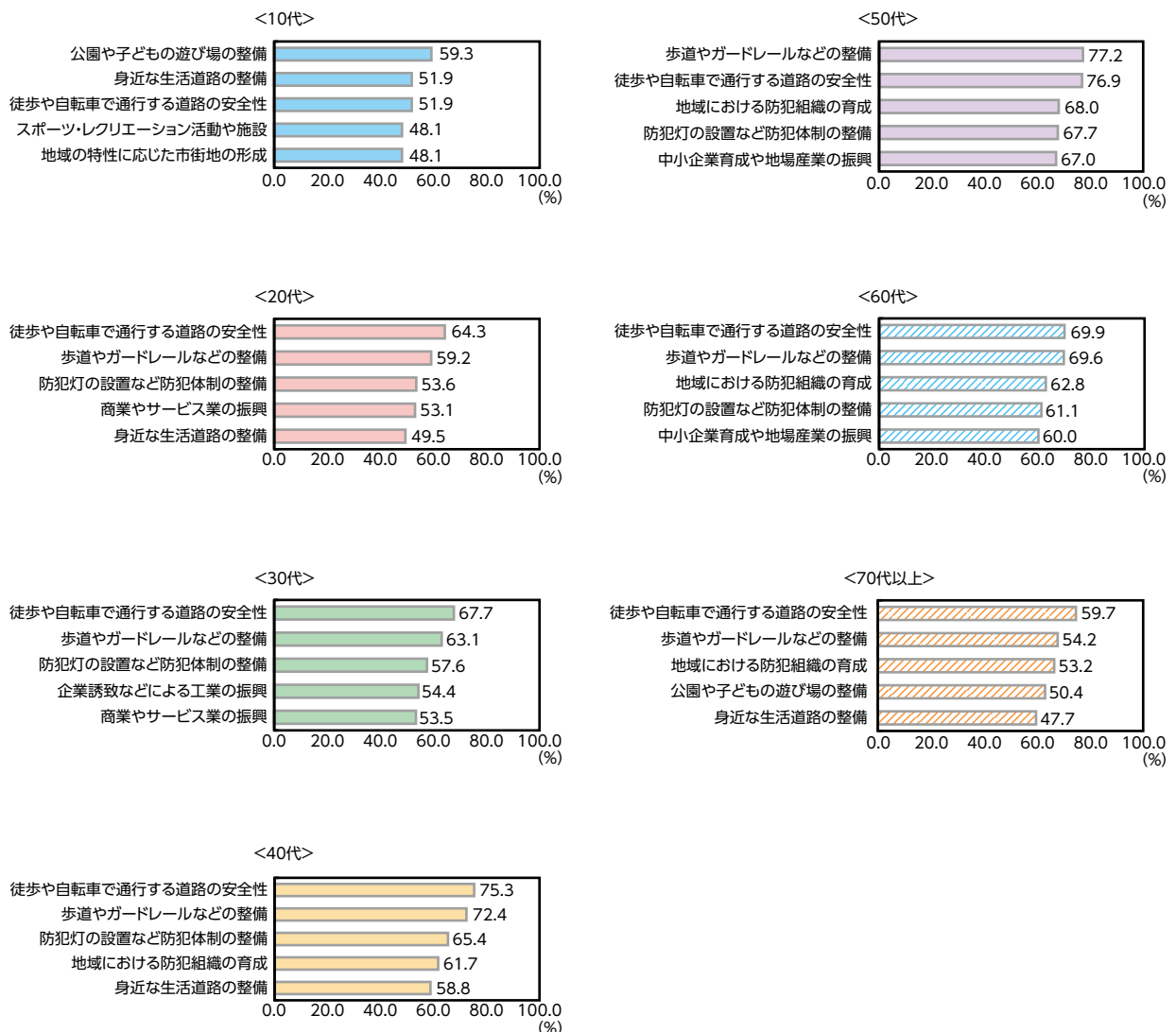
図表 年齢別に見た現在の市民生活やまちづくりに対する評価（1 / 2）  
 （「満足」 + 「やや満足」の合計の上位1位から5位）



注) 図表中で回答の選択肢の表記が長いものは、適宜、表記を一部簡略化している。

年齢別に「やや不満」と「不満」を合わせた「不満」の回答率の上位1位から5位を見ると、10代を除くすべての年齢で「徒歩や自転車で通行する場合の道路の安全性」と「歩道やガードレール、カーブミラーなどの整備」が上位2位以内に入っており、特に40代及び50代の回答率が70%台と他の年齢に比べて高くなっているのが目立ちます。

図表 年齢別に見た現在の市民生活やまちづくりに対する評価（2 / 2）  
（「やや不満」 + 「不満」の合計の上位1位から5位）



注) 図表中で回答の選択肢の表記が長いものは、適宜、表記を一部簡略化している。

### 3 今後の人口減少を抑えるために、行政が力を入れるべき取組み

第1位の回答率は、「市外からの企業誘致の促進」と「若い世代が求める働く場づくり」が最も高くなっています

第1位に挙げられた回答率が最も高かったのは、「市外からの企業誘致の促進」及び「若い世代が求める働く場づくり」の17.9%であり、以下、「地域医療体制の充実」の10.2%、「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援」が10.1%の順となっています。

図表 今後の人口減少を抑えるために、行政が力を入れるべき取組み  
(優先順位の高い順に1位から3位まで)

